



～輝きの子育て～

初めてのママの 安心子育て

見守り、寄り添う 子育てのコツとは？



私事となり恐縮ですが、自分は満州で生まれ敗戦のため戦後二歳半頃に母の故郷（実家）に身を寄せることになりました。そこは大分県日出町豊岡でした。別府湾を見渡せる閑静な田舎町です。小学校の低学年までそこで過ごすこととなります。昔の思い出として懐かしく数々のことが思い出されます。その当時は当たり前バスの中、電車の中でも母親が赤ん坊に母乳を飲ませる姿がありました。最近では授乳室があり、母親が子どもにお乳をふくませる姿は見ることがありません。私はかわいい赤ちゃんを見るとつい目がいき、赤ちゃんも気づき、私をジーとみる感じです。母親は赤ちゃんに「お姉ちゃんネ」と語り掛けると納得したかのようにオッパイを飲み始めるのです。お嬢ちゃんは「赤ちゃんが好きな？」と優しい笑顔の母親の問いかけがありました。周りの大人たちは全く自然体の中で温かい雰囲気に包まれていたように思います。

保育園ではプール遊び、身体測定、昼寝等で、着替えの場面も多いのですが、最近、かなり神経を使います。性犯罪から子どもを守るために大人ができること、小さい内から「羞恥心」を教えていきましょう！と言われるからです。

私の子供の頃は、年齢の差、男女を問わず、河原で裸になって良く遊んだものです。時に水着を持ち合わせず、素っ裸の男の子もいたように思います。思い切り水をかけ合い、きれいな石を探し遊んだものです。通りがかりの人達は笑顔で「気をつけて遊ぶんだよ！」と言葉をかけ、安らぎと平和がありました。人と人との繋がりがしっかりとあったように思います。

実践倫理宏正会から出されている小雑誌の中で「初めてのママの安心子育て」のタイトルで参考にすべき良い文面がありました。是非参考にさせて頂きたく掲載します。

スマートフォンに 子守をさせないで いくら便利で高性能なスマホでも・・・

ある日の電車の中でのこと。バギーに赤ちゃんを乗せ、おしゃべりに夢中なお母さんたちがいました。やがて、赤ちゃんがむずがって泣き出した時、二人ともあやすのではなく、スマホを取り出して赤ちゃんの手に握らせました。すると、どちらの赤ちゃんも泣きやんでスマホの画面に夢中になっています……。こんな光景を電車の中や街中で目にすることが多くなりました。

この数年で、生活の必需品となったスマートフォン。そして、すぐにインターネットにつながるタブレット端末も、多くの家庭で見かけるようになりました。さまざまな情報や画像、動画を気軽に検索できて、いつでもアクセスでき、大人にとっては非常に便利で有用な道具、母親たちが手放せない気持ちもよくわかります。ただ、子ども向けのアプリだからといって、長時間画面を見せていると、赤ちゃんの心身の発達によくない影響を及ぼしかねません。利便性の裏にある、スマホ特有の弊害について、親御さんにはよく理解していただきたいと思います。

同じ時間と空間、心を共有しましょう！

いくら子どもを抱いていても、スマホに夢中では本当に触れ合っていることにはなりません。例えば公園で、赤ちゃんが猫をみつけてびっくりして、「あれ、何？」という問い合わせの表情をうかべても、気づくことができません。さらに、赤ちゃんにおっぱいを飲ませながら、スマホをいじっているお母さんを見ることもあります。お母さんの注意がスマホに向けられているため、授乳中であっても、授乳ホルモンのプロラクチンの分泌が悪くなり、おっぱいが出にくくなります。

そして、つかまり立ちのできた赤ちゃんが「ママ、見て！」とお母さんのほうを見たとしても、スマホに夢中だとどんなに残念な気持ちになるでしょうか。また、お母さんもわが子の成長していく素晴らしい瞬間を見逃すこととなります。こんなにもったいないことはありません。

アメリカ・ペンシルベニアの調査では、ゼロ歳代にスマホの刺激過剰の演出を30分以上浴びせると、言葉や知能を司る脳の部位が委縮してしまうという知見が出ています。親は、よかれと思って見せるのですが脳に悪影響があり、言語や知能の発達が遅れてしまうと言うのです。怖いですね。

スマホの情報は待ってくれても、子どもの成長は待ってくれません。子どもと一緒にいる時は、スマホはできるだけ手にとらずに、「わあ、よかったね！ たっちできたのね！」などと、一緒に喜べる瞬間をたくさん作って、二度とない時間を大切にしてください。目と目をしっかり合わせて、時間と空間、心を共有しましょう。スマホに子守をさせることも、関心を持っていかれることもないように、くれぐれも気をつけて。

御茶ノ水女子大名誉教授 内田 伸子氏 より

追記 故郷、日出町豊岡には「^{しほうおくじ}松屋寺」というお寺があります。祖母のお墓もあり、お参りに出掛けますが、このお寺は豊臣秀吉一族である木下家の菩提寺です。壮大な五輪の塔の墓石が建立されています。又、推定樹齢約700年になる日本一の国指定天然記念物の大蘇鉄は必見の価値が在ります。雪舟が築いたと伝わる「万竜の庭」他多くの寺宝が散在しています。

追記 私事で恐縮ですが、授乳時初めての感動の思い出があります。授乳時、オッパイを吸う我が子がオッパイを優しく噛んだことです。最初は間違えて噛んだのかと思っていたら、また同じように噛んできたので、私は大げさに「イタイ」とにが顔をし、その後ニッコリすると、それが楽しかったのでしょうか、何度も繰り返してきて本人もニッコリしたのです。母親が母乳を与えられることは、まさに神さまから与えられたご褒美かもしれません。

片野 英子